

# Newsletter from KUIS Research Institutes

vol. 5  
2024.7.12



神田外語大学 附属研究所 —— 言語教育研究所 / 日本研究所 /  
グローバル・コミュニケーション研究所 / 学習者オートノミー教育研究所

学習者オートノミー(学習者の自律性)に関する研究活動および実践、専門教育の普及



## 学習者オートノミー教育研究所 (RILAE)

Research Institute for Learner Autonomy Education

本学でこれまで培ってきた学習者オートノミー(学習者の自律性)の育成に関する研究および実践を基に、2017年に設立した研究所です。本研究所は2001年に設立された Self-Access Learning Center (SALC) の附属機関であり、「教育活動」と「研究活動」の両面に重点を置き、学習者オートノミー教育と専門家育成の国際的なハブとなることを目的としています。また、教育者や研究者のオートノミー向上のプログラムも開発し、生涯にわたる学びの場を提供しています。

**RILAE 教員:** Jo Mynard 先生(所長)、加藤 聡子先生、Amelia Yarwood 先生(非常勤講師)

### RILAE の活動内容

- 国内外における学習者オートノミー推進のためのオンライン「学習アドバイザー養成プログラム」の開発と実施(日本語版、英語版)
- 大学・高校・中学の教員教育プログラムの提供
- 研究活動の推進
- 2つの査読付きオンライン学会誌 [SiSAL Journal] [Relay Journal] の刊行
- 学習アドバイジング養成プログラム学習者オートノミーに関連する研究手法のレポトリの作成
- 国際的な共同研究の推進(共同研究機関)

### 最近のイベント

学習アドバイザー教育プログラム: 第4回オンライン卒業式(2024年3月17日)  
Speakers: Jo Mynard (KUIS), Annika Albrecht (Montessori Campus Berlin-Köpenick, Germany), and Michele Daloiso (University of Parma, Italy).

教員向けワークショップ(2024年3月25日)

Empowering students' autonomous second language learning with LLMs. Facilitators: Olga Viberg, Nora Dunder, Saga Lundborg (KTH, Sweden), and Ward Peeters (Monash University, Australia)

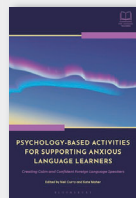
第12回 LAb: オンライン学会(2024年7月5日)

A Curriculum for Learner Autonomy. Speakers: Leni Dam (Denmark), Phoebe Lyon (KUIS), Joy Ramos-Gonzalez (Germany)

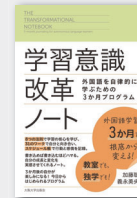
RILAE イベントページ ▶



### 新しい出版物(2024年)



Psychology-Based Activities for Supporting Anxious Language Learners. Edited by Neil Curry and Kate Maher. Publisher: Bloomsbury, UK.



加藤聡子、義永美央子(2024)『学習意識改革ノート—外国語を自律的に学ぶための3か月プログラム』大阪大学出版会

## GCI / RILAE 所長からのごあいさつ

2018年より GCI 運営委員を勤め、本年度より所長を拝命いたしました。インドネシアの近現代政治を専門としています。近年の ICT を始めとした技術革新により、人類が日々直



面する現実が大きく変化しています。そのような国際的な問題に、社会科学やコミュニケーション学の視点から研究を推進し、教育にも反映させることを目的としています。そのためにも学部や学科を横断する本学教員のネットワークを構築することも目指しています。

グローバル・コミュニケーション研究所 (GCI)

高地 薫 先生(アジア言語学科 准教授)

2008年から SALC ディレクターとなり、学習アドバイジング、セルフアクセス、自律性の育成に関する研究を行ってまいりました。2017年に開館した



KUIS 8(8号館)への SALC 移設と同時に RILAE を設立し、活動をさらに活性化させ、様々な出版物(書籍・論文)の刊行、イベントの実施、オンラインプログラムの開発などを通して、国際的にさらなる貢献をする機会を得ています。

学習者オートノミー教育研究所 (RILAE)

ジョー・マイナード 先生(SALCディレクター/教授)

## 『言語教育研究』第 34 号

- connected speech 指導に関する EFL 教員の意識調査 (伊藤 泰子)
- 英語絵本の読み聞かせにおいて子どもは何を思い感じ学んでいるか—子どもの認知・心理・言語理解を探る— (田中 真紀子、河合 裕美)
- 「など」を用いた分裂文と動詞句前置 (藤巻 一真)
- 言語教育研究所 開催イベント一覧 (2023 年 2 月～2024 年 1 月)



## 『Relay Journal』Volume 6 (1) & (2)

Edited by  
Dominique Vola Ambinintsoa & Isra Wongsarnpigoon

### 6 (1) 【Featured Articles】

- Conversation Space: Trialling Self-Access Services (Jessica Zoni Upton, Naoya Shibata & Richard Hill)
- Learning Far Beyond the Classroom: An Exploratory Study of Self-Directed Learning Activities and Strategies of Adult L2 Learners in Japan (Kevin Clark & Hayo Reinders)
- Understanding Our Research Interests: A Synthesis of Publications by Members of a Research Institute (Andrej Krasnansky & Jo Mynard)

### 【Reflective Practice】

- Taking on a Life of Its Own: Relational Mentoring for Mutual Professional Growth (Daniel Hooper & Alex Garin)
- Mentoring in Advising: Engaging with a Fellow Colleague in an Advising Session (Prateek Sharma)

### 【Perspectives】

- There is Something About Affirming SALL: An Everhard and Gardner and Miller Review (Stacey Vye)

### 6 (2) 【Featured Articles】

- When Does English Become “My” Language? Japanese EFL Students’ (Trans)forming Perceptions of English Ownership (Aya Hayasaki)
- Japanese University Students’ Self-Directed Learning Goals and Action Plans Elicited with the Use of a Reflection Tool (Haruka Ubukata & Allen Ying)

### 【Reflective Practice】

- Getting Started—Advising Session Reflections (Michelle Jerrems)

### 【Perspectives】

- The Rise and Fall of the Language Lab: A Cautionary Tale for SALCs (John Larson)



## 『日本研究所紀要』第 16 号

### 【論文】

- 熊谷直実の上品上生往生願について (吉村 稔子)
- 慶応三年前半の中央政局と薩摩藩—パークスの敦賀訪問を中心に (町田 明広)
- 能を作るということ—《弓八幡》を事例に謡曲と能作論の思想的架橋をめざして (上野 太祐)
- 『日本広東学習新語書』における無気音・有気音の仮名表記 (山村 敏江)
- 『日本広東学習新語書』と客家語 (矢放 昭文)

### 【研究ノート】

- 大黒屋光太夫筆ロシア文字福寿と福寿草流行について (松田 清)

### 【講演要旨】

- シーボルト来日 200 周年記念 賀来佐之と伊藤圭介—二人の門人一 (松田 清)

### 【日本研究所 活動報告】

- Asian Philosophical Texts (5) 開催報告 (ムスタツェア・アレクサンドラ)
- 日本研究所活動報告一覧



## 『グローバル・コミュニケーション研究』第 13 号

### 【特集】KUIS における SDGs 教育の取り組み

- 巻頭の辞 (阪田 恭代)
- 【報告ノート】KUIS の正課外活動における SDGs の取り組み—学生団体 55!MAKUHARI の成り立ちと活動について— (玉造 美恵、角田 愛子、長尾 明子、遠藤 誠)
- 神田外語大学の正課科目における SDGs の取り組み (石井 雅章)
- SDG Awareness Week—SALC のプロソーショナルなコミュニティの育成と自律的かつ協働的な学びの支援— (ワトキンス 聡子、林 千純)
- Fostering the Development of Sustainability Competencies through the SDGs (CARDIFF Philip)

### 【研究論文】

- ベトナム農村におけるケア・ローテーションと世代継承性—紅河デルタのバックコック村を事例として— (岩井 美佐紀)
- ジェンダー平等実現に向けた国際的パートナーシップ構築と国連の役割—国際的連帯運動 HeForShe を事例として— (高橋 麻奈)
- Japan’s Twitter Sphere does not Reflect Public Opinions: Classification and Sentiment Analysis by Computational Social Science Methodology (TANIHARA Tsukasa, ODAKAKA Yu)
- 日本人韓国語学習者を対象とした会話教材の開発について (全 相律、洪 妍定、申 知元)
- 日本語と中国語におけるコミュニケーション行動評価概念としての「謙虚」と“谦虚”についての対照研究 (陶 琳)

### 【グローバル・コミュニケーション研究所 2023 年度活動概要】

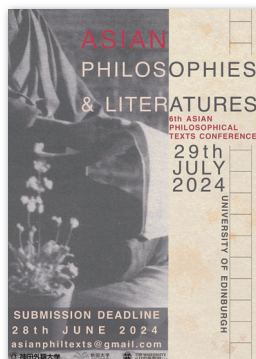


## 【日本研】イベント案内

### 国際学会「Asian Philosophical Texts」を開催 (2024 年 7 月 29 日)

本学日本研究所、秋田大学、エディンバラ大学が共催する国際学会「Asian Philosophical Texts」を開催します。学会の詳細は本学 HP「インフォメーション」をご覧ください。

大学 HP 開催告知ページ▶



- 附属図書館
- 神田佐野文庫常設展示
- **第3回**
- **「終戦後の英語ブーム」**
- 2024 年 9 月 20 日～
- 2025 年 7 月 31 日
- @ 3 号館 1 階展示エリア
- 監修: 松田 清 先生 (日本研究所客員教授)



『日米エホン』高井貞二著 昭和 21 年 4 月 7 日発行 (附属図書館蔵)▲